

# 少年少女 スポーツ指導者



## 市議会

今回は、市内で少年少女にスポーツ指導をしている皆さんにお集まりいたしました。現在の活動や子どもとの関わり、日頃の悩みなどについてお話を伺いました。



### 昔と違つて今は子どもや親も忙しく、なかなかメンバーが集まらなくて苦労しています

〈どんな活動をしていますか?〉

- 3歳の幼児から80代の方まで、水泳を教えています ■ 柔道連盟の副会長をやっていて、柔道の形を大事にしつかり指導しています ■ 少年野球のチームで監督をやっています ■ バレーボールを小学生の女子に教えています ■ 女子ソフトボールの監督を23年間やっています ■ 空手の指導員で、師範の補佐をしています

〈子どもたちと接する中で、心がけていることは?〉

- 楽しさと同時に水の怖さも教え、自分の命を守れるようにするのが水泳の目的の一つだと伝えています ■ 柔術、武道という精神の流れ、投げる楽しみや相手を思う「礼」が大事だということをわかつてもらえるようにしています ■ 常に感謝の気持ちを忘れず、道具を大事にすること、挨拶をしつかりすることなど、よく声かけしています ■ 子どもにすぐに答えを教えず、考えさせる。そして自

分で考えて出した答えは、違つていたとして認めますようにしています。 ■ 「ミユニケーションをたくさんとくようにして下さい

〈子どもたちに教えていて、嬉しかったことや苦労していることは?〉

- 最初は何もできなかつた子がだんだん上達して、大会でいい成績を出し笑顔で報告してくれることが一番嬉しいです ■ やはり逆転勝ちやファインプレーをしたときですね

■ ベストの試合ができ、目いっぱいやれたと子どもたちが感じたときは、みんなで一つになつたという感じがいいですね ■ 個人競技ですが、チームのメンバーをめちゃくちゃ応援する雰囲気がとても好きです ■ 私たちが見ていらないときに、子どもたちの間でけんかがあつて、そのトラブルが広がつていってしまつのはつらいものがあります ■ 子どもたちがなかなか言うことを聞いてくれないことです ■ 昔と違つて今は子どもや親も忙しく、なかなかメンバーが集まらなくて苦労しています ■ 昔と今の指導方法に違いがあり、子どもたちを迷わせてしまうことがあります

〈市や議会に伝えたいことは?〉



■ 未来の子どもたちのためにも、ボール遊びができる公園があるといいですね ■ できるだけいい環境で練習してきた力が出せるようにしてあげたいので、体育館の冷暖房がもつと効くようになるといいですね ■ 小学校の体育館に小学生のバレーボールのラインを引いてほしい。ボールも重い鉄から軽いカーボンになるといいですね ■ 大会をやると、中学校から畠を借りてくるのですが、体育馆に常に用意されているとありがたいです ■ 団体や指導者向けにAED講習会をやってほしいです ■ 教育委員会や青少年の冠のついた大会がもっとあると、市内のスポーツが活発になり強くなると思います

## 第2回臨時会議 9月定例会議 議案審議

（議案第47号） 平成30年度あきる野市一般会計補正予算（第3号）

## あきる野市の こんなことが決まりました。

### Pick up 1 危険なブロック塀の撤去費用等の一部を補助します。

第2回臨時会議 7月27日  
9月定例会議 会議期間 23日間 9月4日～9月26日

第2回臨時会議の議案は  
市長提出議案…1件  
9月定例会議の議案は  
市長提出議案…19件

今号では  
この中から  
3つを  
**Pick up**

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページをご覧いただけます。

A Q 補助金額が500万円ということですが、想定件数を教えてください。  
A Q どの程度申請があるかは読みにくいですが、上限額を、撤去については8万円、設置については12万円、合計20万円と設定し、25件分を予算計上しています。



出典：一般財団法人消防防災科学センター

### Pick up 2 あきる野市総合計画条例を制定します。

（議案第48号） あきる野市総合計画条例

総合計画の定義や審議会の設置、議会の議決など総合計画の策定に関する事項を定めた、あきる野市総合計画条例を制定します。

こんな質問が出ました。

A Q 総合計画審議会の委員には、どのような方を選任する予定ですか。  
A Q 市の行政委員会の委員、公共的団体、その他関係団体の代表、市民代表、学識経験者及び行政関係の職員の方々を想定しています。

A Q 全体のスケジュールは、今年度は基礎調査を行い、その分析をもとに素案を策定します。次年度以降、審議会を年4回から5回程度開催し、平成32年度の12月末頃、計画を策定したいと考えています。



### Pick up 3 区画整理事業への国・都の支出金を減額し、一般財源から繰り入れます。

（議案第62号） 平成30年度あきる野市秋多都市計画事業特別会計補正予算（第1号）

推進業務委託に対する国と都の支出金を8565万円減額し、その分を一般会計から繰り入れます。この減額分については、次年度以降、区画整理事業の財源として新たに申請していく予定です。

こんな質問が出ました。

A Q なぜ交付金の申請額を減額する必要があったのですか。  
A Q 今年度予定していた推進業務委託に比べ、道路を造るお金の方が何にいくら使ったか示しやすいことから、今年度は交付金を見送り、後年から始まる工事関係に充てていくことになりました。



\*千円以下切り捨て



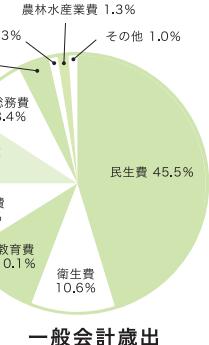
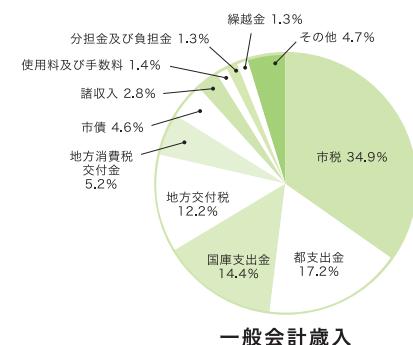
平成29年度決算をチェック

## 税金の使い方を確認しました。

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会議までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。そのため、9月19日・20日の2日間、決算特別委員会を開催、確認し、全ての決算が認定されました。使い道について一部を左ページで紹介します。

一般会計歳出額（使ったお金）

**302億2412万9175円**



総歳出額（使ったお金）

**518億4099万4926円**

平成29年度一般会計・特別会計決算状況

	歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計	308億7835万5767円	302億2412万9175円
特別会計		
国民健康保険	106億4305万7768円	102億73万4599円
後期高齢者医療	19億2864万1435円	19億1334万4071円
介護保険	62億653万9050円	59億1228万5655円
戸倉財産区	1228万9028円	1001万9328円
下水道事業	34億279万4984円	33億3819万5099円
テレビ共同受信事業	3206万5827円	3206万5827円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地整理事業	2億1180万5086円	2億1022万1172円
合計	224億3719万3178円	216億1686万5751円
総合計	533億1554万8945円	518億4099万4926円

## 日本共産党 あきる野市議団

反対

市民の所得階層別人数では、所得200万円以下が66.39%と、低所得層が圧倒的に多い。利益が出なかった企業は6.8%。子育て施策は前進したが、認可・認可外の負担格差解消は課題。保育士に市独自の待遇改善策を。

たばた議員  
危険性に目を向かないマイナンバー制度の利用拡大・カード交付促進は、市民を危険にさらす。就学援助入学準備金の前倒し支給実施の一方、その後の申請がない世帯があるので、丁寧な説明を。秋川駅自由通路エレベーターの設計の遅れは非常に残念。公共交通検討委員会の立ち上げも遅れ、3月末に。今後の議論に期待する。開発優先の時代は終わったことを認め、既存中小企業・商店を大事に、市民の暮らしを支えることを第一にすべきだった。



## 公明党

賛成

平成29年度決算の状況は、市債の償還が順調に進み、基金残高は増加している。将来負担比率は減少し財政状況の改善が見受けられる。歳入ではコンビニ収納も定着し高い徴収率を評価する。財産収入は約4億1千万円の増で旧土地開発公社有地や市営住宅跡地等の処分が進んでいる。歳出では乳幼児一時預かり、病児・病後児保育室の開設、私立保育所等の定員を85人拡充、若年層ピロリ菌検診の周知、総合グラウンドのテニスコートの人工芝化、秋川駅自由通路のエレベーター設置に向けた取組等を高く評価する。今後も、多様な市民要望や懸案事項にしっかり向き合い、市民生活向上への積極的な取組を要望し、賛成討論とする。



大久保議員

## くさしき

反対

平成28年度マイナスであった実質単年度収支が29年度はプラス2億6000万円となった。実質収支を押上げた要因の一つは6億円近い市有地の売却にあり、歳入に占める財産収入の割合は合併以来最も高くなかった。しかし、今後同じような財産収入は期待できず、市の財政は相変わらず低空飛行を続けている。日本のGDPに占める借金比率は23.6%に達し、国からの依存財源に頼った地方財政は極めて不安定である。自治の精神に基づき経済的な自立性を高めることが重要な課題だが、マイナンバーカードによるコンビニ交付事業をはじめ、自治を目指す姿勢を感じられない。引田の区画整理事業への繰出は、企業誘致最優先で公平性に欠く運営であるため認められない。



辻議員



決算特別委員会

## 平成29年度決算をチェック



# このような理由で一般会計決算の認定に賛成・反対しました



増崎委員長

## 明るい未来を創る会

反対

平成29年度末の借金は元金と利息の合計578億2296万4000円となり、平成30年4月1日の人口8万925人で割ると、市民1人当たり約71万円の借金。この状況でも、過去の土地政策失敗を顧みずに武藏引田駅北口土地区画整理事業を進めている。すでに、平成13年から平成29年度末までの委託費の合計などで約4億3千万円。また先行取得した用地買収費約3億7千万円。これまでに多額の財源が投入された。事業計画で示された事業費71億円が増えることはないのか。事業完了後に毎年2億円の税収が上がるというが、土地の価値は上がるのか。市長が武藏引田駅北口土地区画整理事業の進め方を再考しない限りは決算の認定に反対する。



中村のりひと議員

定例会議最終日に、決算特別委員会で審査した結果を増崎委員長が報告し、全会派が平成29年度一般会計決算の内容について賛成・反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

## 自由民主党 志清会

賛成

歳入歳出とも前年度と比較し増額となっているが、歳入面では市有地売払収入や市税等の増加、歳出面では私立保育園や認定こども園の施設設備事業の増と理解。

将来負担比率は、2.2ポイントの改善、市債の線下償

還も実施され、将来負担の縮減に努めていることは、評価する。歳入の市税は前年度比0.9%、9300万円の増収で、新增築家屋の固定資産税、都市計画税の増収が主な要因と理解。歳出は防犯対策の強化、マイナンバーカードの推進、子ども学習支援事業、特定不妊治療助成事業、観光まちづくりの更なる推進、武藏引田駅北口土地区画整理事業の推進に取り組んでいる。今後も自主財源確保に向けた確かな財政運営を期待し賛成する。



ひはら議員